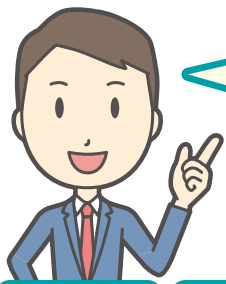


# 警戒レベルを確認して逃げ遅れゼロへ!



令和8年より気象の警報などが次のように大きく変わります。  
 それぞれの**警戒レベル**に相当する情報を、**早めの避難行動の判断**に役立ててください。  
 町からの**避難指示等の発令に留意**するとともに、避難指示等が発令されていなくとも**自ら避難の判断**をしてください。  
 警戒レベル5の状況では災害が発生して避難できなくなることから、**警戒レベル3や4の段階で避難することが重要です。**

警戒レベル	大雨浸水 低地の浸水や 小さな河川の氾濫	河川氾濫 1級河川などの 大きな河川の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ 崩れや土石流	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※1
~~~~~ 〈警戒レベル4までに必ず避難!〉 ~~~~~					
4	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	危険な場所から全員避難	避難指示
3	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	自らの避難行動を確認	大雨注意報・氾濫注意報 (気象庁)
1	早期注意情報			災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

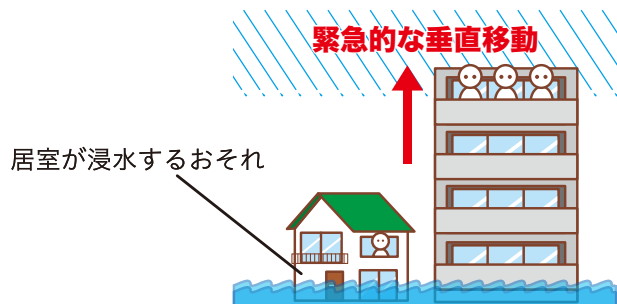
※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません  
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです  
 ※3 新しい気象の警報などは、令和8年5月下旬(予定)より運用されます

## 風水害から身を守るための避難行動

大雨や台風は、震災と異なり、接近時期や規模を事前にある程度予測することができます。日頃から自宅や学校・職場などの生活環境にどのような災害リスクがあるか、防災マップなどで確認し、いざ大雨や台風が迫ってきた場合は、早めに避難行動をとれるようにしましょう。

### 警戒レベル5（緊急安全確保）の発令で住民がとるべき行動のイメージ

**洪水** 浸水しないよう少しでも高い場所へ移動 など



**!** 土砂災害は立退き避難が原則

**土砂災害** 土砂災害の危険がある場所から少しでも離れた場所へ移動 など



※崖から離れた部屋にも土砂が流れ込むおそれがあります。

### 警戒レベル4（避難指示）の発令で住民がとるべき行動のイメージ

**洪水** 浸水しない高い場所へ移動 など



**土砂災害** 土砂災害の危険がない場所へ移動

